

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	新田東総合運動場
2	指定管理者	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団
3	指定期間	平成28年4月1日 ～ 令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 令和元年度 373,059人 (前年度比 88.7%) 平成30年度 420,763人 平成29年度 421,869人
		《事業》水泳教室、バドミントン教室、ボルダリング体験会、アーチェリー教室、スケートボード教室、キッズスポーツデー、シニア健康エクササイズ、障害者スポーツ教室等。(延べ参加者：29,296人)
5	収支の状況	《費用》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 262,069千円 (259,931千円) ・ その他市が負担した費用 23,409千円 (8,346千円)
		《収入》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 98,112千円 (111,018千円) ・ その他収入 322千円 (213千円)
6	利用者の声	《実施状況》 令和元年10月10日～30日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、令和元年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。	28/28
V 施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等の自主事業を積極的に行い、市民のスポーツ振興に大きく寄与した。プールの運営については、利用者の安全性が確保されている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》

2020東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの候補施設として、これに関連する事業や視察対応など、関係機関と協力しながら積極的に取り組みました。

施設設備の管理業務については、職員による日常点検と専門業者による定期点検とを組み合わせ、重大事故につながる異常や故障の早期発見・防止に努めました。消防設備点検やエレベーター点検等の法令にかかるものについて、年間スケジュールを立てて計画的に実施しました。施設の利用受付や取消、還付手続きは、確実に処理されているかなど、事後確認を徹底しました。

自主事業については、施設の空きコマや空きスペース等を積極的に活用し、前年度より4事業増やすなど参加者増加を試みましたが、新型コロナウイルス拡大防止のため施設が臨時休館となり、参加人数は平成30年度 37,740人を下回る、29,296人に減少してしまいました。提案事業として「知的財産の活用による利用者サービスの向上」を目的とし、医療やトレーニング等の専門教育機関と連携し、専門知識を持った学生が定期的に施設を訪れ、トレーニング室利用者にパーソナルトレーニングを行いました。利用者からは「専門的な指導を受けることができた。」「教え方が具体的でわかりやすかった。」など、トレーニング意欲の向上につながったと好評を得ることができました。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。

施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。

施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。

サービスの質の向上については、様々なスポーツ教室を開催するなど、市民のスポーツ振興及び普及に寄与している。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課